

## 公開講演会がありました...

8月1日(火)に、学校DX戦略アドバイザーの徳島県東みよし町立昼間小学校校長 中川 斉史様をお呼びし、下笠居コミュニティセンターで公開講演会を開催しました。市内小・中学校からも、会場での参加だけでなく、オンラインにより多くの方に参加いただきました。

講演会では、「ICT活用による『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的充実」のテーマのもと、これまでのご経験を踏まえ、具体的な実践を教えてくださいました。以下に、講演会に参加しての感想等を紹介합니다。

### ◎ 公開講演会に参加しての感想・意見

- ・ICT活用を推進するためには、校長等の強いリーダーシップは大きな条件であることを感じました。
- ・詳しくないので、詳しい先生に聞きながら少しずつ取り組んでいきたいです。
- ・日々使ってはいますが、「活用しているか」ときかされると「？」がたくさん浮かびます。何のために、何に向かって、ゴールはどこかということの中で明確にできればと思いますが、なかなか難しいです。
- ・新しい学力を育てるには、課題解決型授業や対話型授業が大切であり、自分で考え、グループで考え、その授業の中でICTを使うのが大切であるとおっしゃっていました。私たちが今研究している授業がそうであり、方向性として間違っていないことがわかり、大変納得しました。また、Teamsを使った振り返りを学級で共有する優位性がわかりました。
- ・AIが入ることで、インターフェースが格段に良くなることはないのでしょうか。
- ・子どもたちが自分で学びを進めていくためにも、教職員が情報活用能力を高め、授業改善を行うことの必要性を実感しました。
- ・想像以上に学校間格差を感じました。9月から授業や家庭で活用できるよう、メディア担当を中心に校内研修が必要であると痛切に感じました。
- ・今までも、生徒が授業中にICTを流暢に使いながら学習を進めていく必要があると認識していましたが、あらためてそのことの重要性を実感しました。
- ・カリキュラムマネジメントの視点から、生徒に身に付けさせたい資質能力を明確にした活用が大切であるということを改めて感じました。
- ・実践例をお聞きし、様々な学習場面でICTを活用できると学びました。生徒の学びにつながるようなICTの活用ができるよう、まずは自分自身がICTへの学びを深めていきたいと思ひます。
- ・ドリルをしたり、生徒を管理したりするために使うのではなく、より深い学びにつなげるため、生徒の主体性を育むためのICT活用だと思いました。今までと少し視点を変えて、活用していきたいと思ひました。ただ、使用しているシステムが違つと「いいなあ」になってしまうので、自分が使えるシステムの中で、共通点を見つけることが難しいと感じました。
- ・授業の中で「いつ、どのような場面で、どのような内容で」ICTを活用するかを考えるいい研修になりました。毎回の授業では難しいかと思ひますが、単元や課題に応じて、効果的にICTを活用する機会を取り入れていきたいと感じました。
- ・下笠居小中学校にとどまらず、ICTをこのように活用できるというアイデアをもっと共有できる場があればと思ひます。
- ・ICTでなければできないこと、教師でなければできないことそれぞれの事例をもっと知ることができれば、もっと扱いやすいのかなと思ひました。また、タブレットを持ち帰らせることに不安があるので、管理についてどのようなルールを作っているのか、なども知りたいです。

◎ 講演会の様子から



【中川 学校DX戦略アドバイザー】



【講演の様子】



【会場の様子①】



【会場の様子②】



【質疑応答の様子】

	<p><b>本日の主な内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①GIGA時代の情報活用能力カリマネ</li> <li>②授業実践の紹介</li> <li>③校内研修とツール</li> <li>④授業改善について</li> <li>⑤家庭での利用の実際</li> <li>⑥環境の大切さ</li> <li>⑦ふり返りの扱い</li> </ol>
	<p><b>R4年度 高志小(前年)の学力調査結果一覧 正答率比較</b></p>
	<p><b>GIGAスクール構想</b> global and Innovation Gateway for All 日本版</p> <p>すべての児童・生徒にグローバルで革新的な扉を</p> <p>教育・学習におけるICT活用の特性・強みを生かし、新学習指導要領の履践を実現するための重要な役割</p>

【配布資料から】